

日本のパレスチナ支援



2025年10月

パレスチナ支援 (2023年10月7日～)

日本は、喫緊の人道ニーズと膨大な早期復旧・復興ニーズに対応するため、パレスチナに対し**約2億4千万ドル**の人道・復興支援を実施しています。

1. 人道支援

- 国際機関（**UNRWA**、**WFP**、**WHO**、**UNICEF**、**ICRC**、**IFRC**、**OCHA**等）と日本の**NGO**を通じ、**食料**、**水**、**保健・医療等の分野**で、人道支援を実施。
- JICA**を通じ、テントや毛布等（2023年11月）、ゴム手袋等（2023年12月）の支援物資をエジプト経由にて供与。また、ガザ向けの食料支援（2024年5月）や、ガザでの炊き出しや食料キットの配布（2025年3月）を実施。



テント物資支援（ガザ地区）



食料支援（ガザ地区）



エジプトに到着した支援物資

2. 復旧支援

- UNDPに約600万ドルを提供し、がれき除去と廃棄物処理を支援。
- JICAを通じ、廃棄物の処理、保健医療体制の整備、上下水道の復旧等に必要な資機材を供与（約1300万ドル）。



瓦礫処理の様子



令和6年度補正予算にて実施

3. 人づくり支援

- パレスチナの「国づくり」のための「人づくり」として、人材育成支援や能力強化支援を実施。
- 2024年度にはパレスチナ自治政府の主要官庁の行政能力強化支援を実施。
- 「パレスチナ開発のための東アジア協力促進会合（CEAPAD）」の枠組みを活かし、三角協力等で能力強化支援を実施。

4. 社会・経済的支援

- 日本・パレスチナ開発基金を活用し、「平和と繁栄の回廊」構想の旗艦事業である「ジェリコ農産加工団地（JAIP）」のインフラ整備や開発促進を実施。
- 世銀を通じ、パレスチナ自治政府（PA）の公務員給与支払を負担するなど、1,000万ドルの財政支援を実施。



JAIP（俯瞰写真）